

従業員向け	放課後等デイサービス評価表
-------	---------------

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		活動スペースを用途別（学習・遊び・静養）に分け、混雑や衝突を防ぎながら安全に活動できる環境を整えている。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		児童の特性（多動・感覚過敏など）に応じて職員配置を調整し、個別対応が必要な場面でも迅速に対応できる体制を整えている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		1日の流れや活動内容をホワイトボードやカードで視覚化し、見通しを持って安心して行動できるよう支援している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		毎日の清掃・消毒に加え、玩具や教材も定期的に衛生管理を行い、安心して過ごせる環境を維持している。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		クールダウンスペースを確保し、気持ちの切り替えが必要な児童が落ち着ける環境を整えている。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		朝礼・終礼で支援内容の確認と振り返りを行い、日々の支援改善につなげている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		保護者アンケートを実施し、結果を職員会議で共有し改善策を検討している。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		職員からの意見を定期的に収集し、業務フローや支援内容の見直しに活用している。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	第三者による外部評価を実施する機会が現時点では設けられていないため、今後は外部の視点を取り入れられる体制を検討し、客観的な評価を業務改善につなげていく必要がある。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		オンライン研修を計画的に実施し、支援スキルの向上を図っている。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		HPや事業所での掲載。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		面談や聞き取りを通じて児童・保護者のニーズを把握し、支援計画に反映している。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		支援計画作成時には職員間でケース検討を行い、多角的な視点で内容を検討している。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		支援計画は職員間で共有し、誰が対応しても一貫した支援ができるようにしている。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		日々の記録と行動観察を通じて、児童の変化や成長を把握している。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		本人支援・家族支援・地域連携の視点を取り入れた計画作成を行っている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		活動プログラムは職員間で意見を出し合いながら企画している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		季節行事や新しい活動を取り入れ、児童の興味関心を引き出す工夫をしている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		個別活動と集団活動をバランスよく組み合わせ支援している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		支援前に当日の流れや注意点を職員間で共有している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		支援後に振り返りを行い、気づきや課題を共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		支援記録を毎日作成し、支援内容の見直しに活用している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		定期的にモニタリングを行い、必要に応じて計画を見直している。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		生活・遊び・社会性の発達を意識した支援を組み合わせている。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		活動選択の場面を設け、自己決定の機会を増やしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		担当者会議には児童の様子を把握している職員が参加している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		必要に応じて学校や関係機関と情報共有を行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校との連絡帳や送迎時のやり取りを通じて情報共有している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		就学前に利用していた保育所、幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有が十分ではないため、必要に応じて関係機関と連携し、支援の継続性を高めていく必要がある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		学校卒業後に障害福祉サービス事業所等へ移行する際の情報提供については、対象となるケースが限られており体制も十分ではないため、今後は移行支援を見据えた引継ぎの流れを整えていく必要がある。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		地域の児童発達支援センターとの連携や、助言・研修を受ける機会が十分ではないため、今後は専門機関とのつながりを広げ、支援の質の向上につなげていく必要がある。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		放課後児童クラブや児童館、地域の他のこどもと交流する機会が十分ではないため、今後は地域との関わりを意識しながら、無理のない範囲で交流の場を検討していく必要がある。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		協議会等への参加が十分ではないため、今後は地域の関係機関との連携を深めるためにも、参加の機会や体制を整えていく必要がある。	

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		記録や口頭で日々の様子を伝え、共通理解を図っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	家庭での関わり方について助言や情報提供を行っている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に丁寧な説明を行い、理解を得ている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		支援計画作成時に保護者の意向を確認している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		支援内容を説明し、同意を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	1	相談には随時対応し、必要に応じて面談を実施している。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	1	保護者同士の交流については今後の検討課題としている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		苦情対応体制を整え、迅速な対応を行っている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		お便りや連絡ツールを活用して情報発信を行っている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		個人情報の管理を徹底している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	分かりやすい言葉や視覚支援を用いて意思疎通を図っている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		地域との関わりを意識した運営を心がけている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各種マニュアルを整備し、定期的に確認している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		避難訓練等を実施し、非常時に備えている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		事前に健康情報を把握し、対応に活かしている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		アレルギー情報を確認し、安全に配慮している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全管理に関する研修や確認を行っている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		安全に関する取り組みを保護者へ周知している。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1	ヒヤリハットを共有し、再発防止に努めている。

53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止研修を実施し、職員の意識向上を図っている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		身体拘束については必要最小限とし、事前説明と同意を徹底している。

保護者向け

## 放課後等デイサービス評価表

(保護者の皆さまへ)

○本評価表は、放課後等デイサービスを利用するお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」のいずれかに○を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4		活動スペースを用途別(学習・遊び・読書)		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4		児童の特性(多動・感覚過敏など)に応じ		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4		1日の流れや活動内容をホワイトボードやカードで視		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4		毎日の清掃・消毒に加え、玩具や教材を定		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4		ンスペースを確保し、		
	6 事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4		研修や検		
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	4		ケートを実施し、		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4		職員からの意見を定期的に収集し、業務フローや支援内容		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。		4	第三者による外部評価を実施する機会が現時		
	10 事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4		研修を計画的に実施し、支援ス		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4		HPや事業所での掲載。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4		面談や聞き取りを通じて児童・保護者のニ		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4		支援計画作成時には職員間でケース検討を行		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4		職員間で共有し、		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	4		誰が対応し、善の記録と行動観察を通じて、		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4		児童の姿・家族支援・地域連携の視点を		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4		プログラムは職員間で意見を出し合いな		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4		季節行事や新しい活動を取り入れ、児童の興味		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4		個別活動と 集団活動を バランスよく 組み合わせ せて支援し	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4		支援前に日 の流れや注 意点を職員 長間で共有 支援後に旅 り返りを行 い、気づき や課題を共 文書記録を 毎日作成し 、支援内容 の見える化 定期的モニ タリングを 行い、必要 に応じて生 活・遊び・ 社会性の発 達を意図し た支援活動 の場を設 け、自己決 定の機会を 必要に応じて 学校や関係 機関と情報 共有を学校 との連絡帳 や送迎時の やり取りを通 じて利用して いた保育所、 幼稚園、認定	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4			
非常時等の 対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4			
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4			
	29	事業所の支援に満足していますか。		4		

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画（個別支援計画）」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	年 月 日	~	活動スペースを用途別（学習・遊び・静養）に分け、 混雑や衝突を防ぎながら安全に活動できる環境を整え 児童の特性（多動・感覚過敏など）に応じて職員配置 を調整し、
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)
○従業者評価実施期間	年 月 日	~	1日の流れや活動内容をホワイトボードやカードで視覚 化し、
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		毎日の清掃・消毒に加え、玩具や教材も定期的に衛生 管理を行い、 グループタウンスペースを確保し、 気持ちの切り替えが必要な児童が落ち着ける環境を整 朝礼・終礼で支援内容の確認と振り返りを行い、 日々の支援改善につなげている。
○分析結果	4		
	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	4	保護者アンケートを実施し、 結果を職員会議で共有し改善策を検討している。
1		4	職員からの意見を定期的に収集し、 業務フローや支援内容の見直しに活用している。
2			第三者による外部評価を実施する機会が現時点では設けられ ていないため、今後は外部の視点を取り入れられる体制を検 討し、客観的な評価を業務改善につなげていく必要がある。
3		4	オンライン研修を計画的に実施し、支援スキルの向上を図っている
		4	HPや事業所での搭載。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	4	面談や聞き取りを通じて児童・保護者のニーズを把握 し、 支援計画に反映している。
1		4	支援計画作成時には職員間でケース検討を行い、 多角的な視点で内容を検討している。
2		4	支援計画は職員間で共有し、 誰が対応しても一貫した支援ができるようにしている。
3		4	の記録と行動観察を通じて、児童の変化や成長を把握している

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日 年月日		4	4	利用児童数	年月日	回収数
	4	4					
チェック項目	4	どちらとも いえない	4	4	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4	4			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4				
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	4				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	4				
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4		定期的にモニタリングを行い、必要に応じて生活・遊び・社会性の発達を意識した支援活動等の場面を設け、自己決定の機会を			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4		には児童の様子を把握しているとして学校や関係機関と情報共有を			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4		学校卒業後に障害福祉サービス事業所へ移			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4		発達支援センターとの連携や助成クラブや児童館、地域の他のこど			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。		4				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。		4				
	29	事業所の支援に満足していますか。		4				

